

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 01 道路環境の整備

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市が管理する道路施設及び都市計画に位置付けている都市計画道路、道路利用者	道路施設の計画的な整備と適切な維持管理が行われ、道路利用者の安全性や利便性、快適性が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標①	幹線道路に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	76.0	81.6	-	→
評価	<p>(状況) 幹線道路に満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、道路整備年次計画に基づき道路の拡幅や道路舗装修繕等を効率的に実施し、適切な維持管理をしていることや構成している基本事項の成果指標値が伸びており、幹線道路に満足している市民の割合の向上につながっていると推測されます。</p>						目標達成度

指標②	生活道路に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	73.1	77.4	-	→
評価	<p>(状況) 生活道路に満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、地域からの要望を受け、生活道路としての利用状況等を踏まえ、緊急性や優先度を考慮して道路を整備したことや構成している基本事項の成果指標値が伸びており、生活道路に満足している市民の割合の向上につながっていると推測されます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 道路の整備
基本事項 02 道路維持管理の推進
基本事項 03 橋りょう長寿命化の推進
基本事項 04 都市計画道路の整備

基本事項01 道路の整備

指標①	市道の改良率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	64.2	64.4	64.5	64.3	(向上)
評価	(状況) 市道の改良率は64.5%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.3ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 市道4路線の改良工事L=232mを実施しましたが、市道の認定路線が26路線増え、管理延長についても5,310m増えたことにより、実績値が微増となっています。						目標達成度
							(達成)

基本事項01 道路の整備

指標②	市道の舗装率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	70.3	70.8	70.9	70.5	(向上)
評価	(状況) 市道の舗装率は70.9%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.6ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 生活道路等の利用状況を精査し13路線、延長約1,457mの舗装を実施しましたが、市道の認定路線が26路線増え、管理延長についても5,310m増えたことにより、実績値が微増となっています。						目標達成度
							(達成)

基本事項02 道路維持管理の推進

指標①	道路維持管理上の不具合による事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	件	3	0	2	0	(向上)
評価	(状況) 道路維持管理上の不具合による事故発生件数は2件で、前年度と比較すると2件増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると1件減少しました。 (原因) 定期的なパトロールや「レポナウすかがわ」への投稿情報などから、道路の不具合に対し早急な修繕対応等を行っています。路面陥没等により車両の物損事故が2件発生しました。						目標達成度
							(低)

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標①	橋りょう定期点検実施率 (2巡目：2019 (R1) 年～2023 (R5) 年)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	79.8	100.0	100.0	80.0	(向上)
評価	1巡目：2014 (H26) 年～2018 (H30) 年 (状況) 1巡目の橋りょう定期点検実施率は100%で、2巡目の点検実施率は2.4%です。 (原因) 平成26年度より開始した1巡目(5ヶ年)の橋りょう定期点検が平成30年度に完了し、令和元年度より2巡目となる橋りょう定期点検(1年目)が開始されたためです。						目標達成度
							(達成)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	道路の整備
基本事項 02	道路維持管理の推進
基本事項 03	橋りょう長寿命化の推進
基本事項 04	都市計画道路の整備

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標②	橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	5.0	40.4	49.0	80.0	(向上)
評価	<p>(状況) 橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率は49.0%で、前年と比較すると8.6ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると44.0ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 社会資本整備総合交付金事業を活用し、橋りょう長寿命化計画に基づき、川原橋ほか3橋の橋りょう修繕工事を実施したことによるものです。</p>						目標達成度
		(中)					

基本事項04 都市計画道路の整備

指標①	都市計画道路の整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	%	84.5	85.0	85.0	85.7	(向上)
評価	<p>(状況) 都市計画道路の整備率は85.0%で、前年度と同数ですが、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.5ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 現在は、国道4号を補完する関下一里担線の整備を進めております。令和元年度工事で、道路改良工事 (狐石工区) を完了し、令和2年度の一部供用開始を目指します。</p>						目標達成度
		(低)					

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 02 住環境整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市域	市街化区域の利便性が高まり、暮らしやすい住環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市街化区域の人口割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【都市計画課】	%	52.2	52.9	53.8	
評 価	(状況) 市街化区域の人口割合は53.8%で、前年度と比較すると0.9ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると1.6ポイント増加しており、順調です。 (原因) 暮らしやすい住環境の整備が進んでおり、市街化区域の利便性が向上しているためと考えられます。						(向上)
							目標 達成度
						(達成)	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 適切な土地・建物の利用推進
基本事項 02 都市機能の集約
基本事項 03 安全で快適な公園緑地化の推進
基本事項 04 良好な都市景観の創出・維持

基本事項01 適切な土地・建物の利用推進

指標①	違反是正の行政指導を行った建築物等の数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【建築住宅課】	棟	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 違反是正の行政指導を行った建築物等の数は0棟で、前年度及び総合計画基準値 (H28) の0棟を維持しています。 (原因) 建築物等の確認審査、完了検査を厳正に行うことにより、適正に建築されていることが原因と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項01 適切な土地・建物の利用推進

指標②	市街化区域内の未利用地面積	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	km ²	3.3	3.3	3.3	2.4	(横ばい)
評価	(状況) 市街化区域内の未利用地面積は3.3km ² で、前年度及び総合計画基準値 (H28) と比較し、横ばいです。 (原因) 開発行為等による土地利用は進みましたが、未利用地面積の減少には至りませんでした。						目標達成度
							(低)

基本事項02 都市機能の集約

指標①	都市機能の集約割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	%	67.0	67.0	67.0	75.0	(横ばい)
評価	(状況) 都市機能の集約割合は67.0%で、前年度及び総合計画基準値 (H28) と比較し、横ばいです。 (原因) 目標値 (R04) に向けた都市機能の集約を目指しているため、今後は令和元年度に公表した立地適正計画に基づく、立地誘導などの指導を進めていく必要があります。						目標達成度
							(低)

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標①	公園の整備・維持管理に対する住民満足度	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	%	81.1	85.1	-	→	---
評価	(状況) 公園の整備・維持管理に対する住民満足度の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、実績値が未取得となっています。しかし、構成している基本事項のすべての成果指標値が伸びており、順調に実績値が向上していると推測されます。						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	適切な土地・建物の利用推進
基本事項 02	都市機能の集約
基本事項 03	安全で快適な公園緑地化の推進
基本事項 04	良好な都市景観の創出・維持

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標②	公園維持管理上の不具合等による支障件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	件	30	24	25	27	(向上)
評価	(状況) 公園維持管理上の不具合等による支障件数は25件で、前年度と比較すると1件増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると5件減少しており、目標値を達成しています。内訳は、遊具などの不具合によるものが6件、樹木の伐採に関するものが2件、利用やマナーによるものが8件、除草に関するものが9件となっています。 (原因) 公園施設の長寿命化計画に基づき、遊具や樹木等の日常点検を行っているため、支障件数が減少したと考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標③	市民一人当たりの都市公園供用面積	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	m ²	11.3	11.7	11.8	11.6	(向上)
評価	(状況) 市民一人当たりの年公園供用面積は、11.8m ² で、前年度と比較すると0.1m ² 増加し、総合計画基準 (H28) と比較すると0.5m ² 増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 墓地公園の墓域整備を毎年行っており、都市公園の供用面積が年々増加しているためと考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 良好な都市景観の創出・維持

指標①	都市景観が良好だと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市計画課】	%	82.6	85.8	-	→	---
評価	(状況) 都市景観が良好だと思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施している市民アンケート調査で取得するため、実績値は未取得となっています。しかし、街路整備等がほぼ完了している市内中心部では、都市再生整備事業が進んでおり、市民交流センターtetteのオープンなどにより、空地や閉店したままの店舗も減少していることから、概ね順調に推移していると推測されます。						目標達成度

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 03 水道水の安定供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
水道利用者	安全・安心な水の安定供給がなされています。

施策の成果状況と評価

指標①	水道施設の不具合における断水件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【水道施設課】	件	9	4	2	0
評価	(状況) 水道施設の不具合による断水件数は2件(漏水)で、前年度と比較すると2件減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると7件減少しており、順調です。 (原因) 水道施設の維持管理を適正に実施したことによるものです。						目標達成度
		■ (高)					

指標②	水道水が安全・安心だと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【水道施設課】	%	88.0	89.4	—	➔
評価	(状況) 水道水が安全・安心だと思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、実績値は未取得となっています。ただし、構成している基本事項の実績から、順調に目標に向かってしていると推測できます。						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 水道施設の耐震化
基本事項 02 水道施設の適切な維持管理
基本事項 03 水道事業の経営安定化

基本事項01 水道施設の耐震化

指標①	浄水施設の耐震化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	%	38.5	38.5	38.5	91.2	(横ばい)
評価	(状況) 浄水施設の耐震化率は38.5%で、前年度及び総合計画基準値 (H28)と比較し横ばい状態ですが、平成29年度福島県の浄水施設耐震化率の30.9%と比べると7.6ポイント上回っています。 (原因) 平成23年度から実施している西川浄水場 (19,500m ³ /日)の改築を進めており、令和3年度に耐震化が完了するためです。						目標達成度
							■■■ (低)

基本事項01 水道施設の耐震化

指標②	基幹管路の耐震化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	%	43.8	45.7	46.8	47.0	(向上)
評価	(状況) 基幹管路の耐震化率は46.8%で、前年度と比較すると1.1ポイント増加し、総合計画基準値 (H28)と比較すると3.0ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 長沼送水管の布設替等を実施したためです。						目標達成度
							■■■ (高)

基本事項02 水道施設の適切な維持管理

指標①	浄水施設の不具合件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	件	1	1	1	0	(横ばい)
評価	(状況) 浄水施設の不具合件数は1件 (西川浄水場6号送水ポンプ電動機)で、前年度及び総合計画基準値 (H28)と比較し、横ばいです。 (原因) 水道施設の維持管理等を年間を通して適正に実施しているためです。						目標達成度
							■■■ (高)

基本事項02 水道施設の適切な維持管理

指標②	配水管の漏水件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	件	15	7	9	7	(向上)
評価	(状況) 配水管の漏水件数は9件で、前年度と比較して2件増加しておりますが、第8次総合計画基準値 (H28)と比較し6件減少しており、順調に推移しています。 (原因) 計画的な配水管更新等の維持管理業務を適正に実施している事が向上の要因だと考えられます。						目標達成度
							■■■ (高)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 水道施設の耐震化
- 基本事項 02 水道施設の適切な維持管理
- 基本事項 03 水道事業の経営安定化

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標 ①	有収率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【水道施設課】	%	90.5	91.5	89.6	92.0
評 価	<p>(状況) 有収率は89.6%で、前年度と比較すると1.9ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると0.9ポイント減少しており、順調ではありません。 (原因) 台風第19号災害に係る水道料金減額を行ったためです。</p>						目 標 達成度 (中)

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標 ②	料金回収率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【経営課】	%	107.8	106.0	103.7	100.0以上
評 価	<p>(状況) 料金回収率は103.7%で、前年度と比較すると2.3ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると4.1ポイント減少しましたが、目標値は達成しています。 (原因) 減価償却費が119,216千円増加するなど、給水原価が増加したためです。</p>						目 標 達成度 (達成)

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標 ③	経常収支比率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【経営課】	%	116.4	114.2	110.0	100.0以上
評 価	<p>(状況) 経常収支比率は110.0%で、前年度と比較すると4.2ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると6.4ポイント減少していますが、目標値は達成しています。 (原因) 減価償却費が119,216千円増加するなど経常費用が増加したためです。</p>						目 標 達成度 (達成)

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 04 生活排水対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、河川水質	生活排水処理施設により、市民の生活排水が適正に処理され、下流域の河川や湖沼などの水環境が向上します。

施策の成果状況と評価

指標 ①	汚水処理人口普及率（公共下水道・農業集落排水施設・合併処理浄化槽の合計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【下水道施設課】	%	81.2	81.9	83.2	
評価	<p>（状況）汚水処理人口普及率は83.2%で、前年度と比較すると1.3ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると2.0ポイント増加しており、順調です。</p> <p>（原因）公共下水道管きよの整備が進んだことにより供用開始区域が拡大したことや、農業集落排水事業が完了し汚水処理施設の使用が可能となった世帯が増加したこと、さらには、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換が進んでいることから、汚水処理人口普及率が向上したものです。</p>						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	生活排水処理施設の整備
基本事項 02	水洗化の促進
基本事項 03	処理場・下水道管の適切な維持管理
基本事項 04	公営企業の経営安定化

基本事項01 生活排水処理施設の整備

指標①	公共下水道整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	73.9	78.0	78.7	84.2	(向上)
評価	(状況) 公共下水道整備率は78.7%で、前年度と比較すると0.7ポイント増加し、総合計画基準値 (H28)と比較すると4.8ポイント増加しており、順調です。 (原因) 第1処理分区 (和田道、朝日田地内)と第3処理分区 (森宿地内)の整備を実施したことにより、下水道施設を使用できる区域面積が平成28年度の926haから987haへ増加したことによるものです。						目標達成度
							(低)

基本事項01 生活排水処理施設の整備

指標②	転換による合併処理浄化槽設置基数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	基	1,929	1,955	1,977	2,279	(向上)
評価	(状況) 単独処理浄化槽からの転換による合併処理浄化槽設置基数 (累計)は1,977基で、前年度と比較すると22基増加し、総合計画基準値 (H28)と比較し48基増加しており、順調です。 (原因) 単独処理浄化槽からの転換により合併処理浄化槽を設置する場合の上乗せ補助を、平成30年度から実施したことなどが要因と考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項02 水洗化の促進

指標①	公共下水道水洗化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	79.7	78.3	79.6	81.5	(横ばい)
評価	(状況) 公共下水道水洗化率は79.6%で、前年度と比較すると1.3ポイント増加していますが、総合計画基準値 (H28)と比較すると0.1ポイント減少しています。 (原因) 各処理区の整備が進んだことで、公共下水道の供用開始区域が拡大し、処理区域内人口は増加しましたが、公共下水道への接続人口の増加には時間を要するため、水洗化率が一時的に低下しました。今後は接続人口の増加に伴い水洗化率は向上します。						目標達成度
							(低)

基本事項02 水洗化の促進

指標②	農業集落排水施設水洗化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	88.8	89.2	89.2	94.2	(向上)
評価	(状況) 農業集落排水施設水洗化率は89.2%で、前年度と同数ですが、総合計画基準値 (H28)と比較すると0.4ポイント増加しており、順調です。 (原因) 各地区の整備が完了し、未接続者への通知を行ったことにより、水洗化率が増加したものです。						目標達成度
							(低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	生活排水処理施設の整備
基本事項 02	水洗化の促進
基本事項 03	処理場・下水道管の適切な維持管理
基本事項 04	公営企業の経営安定化

基本事項03 処理場・下水道管の適切な維持管理

指標①	管きよの維持管理の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	件	3	2	2	0	(向上)
評価	(状況) 管きよの不具合やトラブル件数は2件で、前年度と同数ですが、総合計画基準値 (H28) と比較すると1件減少しています。 (原因) 管きよの定期的な点検や清掃を実施し、機能不全箇所については、早急に修繕を実施しているためです。						目標達成度
							(中)

基本事項03 処理場・下水道管の適切な維持管理

指標②	処理場の維持管理の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 処理場の維持管理の不具合・トラブル件数は0件で、前年度及び総合計画基準値 (H28) を維持しており、順調です。 (原因) 処理場の維持管理業務などを専門知識を有する業者に委託し、また、遠方監視システムを導入し異常時に対して迅速な対応を行っているためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 公営企業の経営安定化

指標①	公共下水道使用料単価	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【経営課】	円/m ³	146	168	175	150	(向上)
評価	(状況) 公共下水道使用料単価は175円/m ³ で、前年度と比較すると7円/m ³ 増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると29円/m ³ 増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 令和元年10月1日から消費税増に合わせ、料金改定を行ったことにより、調定額が増えたためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 公営企業の経営安定化

指標②	農業集落排水処理施設使用料単価	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【経営課】	円/m ³	174	173	150	175	(低下)
評価	(状況) 農業集落排水処理施設使用料単価は150円/m ³ で、前年度と比較すると23円/m ³ 減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると24円/m ³ 減少しています。 (原因) 令和2年4月1日付で、地方公営企業法を全適用したことから、3月末日に打切決算を行ったため、通常出納整理期間に収入される分が減少したためです。						目標達成度
							(低)

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 05 環境の保全と循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、自然環境	豊かな自然環境が保全されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	自然環境に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【環境課】	%	87.9	91.2	-	
評 価	(状況) 自然環境に満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートから取得しているため、未取得となっています。しかし、河川、公園、森林や農村環境などに代表される緑豊かな本市の自然環境が適切に保全されているうえ、構成している基本事項の成果指標も安定していることから、目標は継続して達成されているものと推測されます。						---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 低炭素社会の推進
基本事項 02 水と大気環境の保全
基本事項 03 放射線対策の推進
基本事項 04 生活衛生の向上
基本事項 05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

基本事項01 低炭素社会の推進

指標①	市管理施設の二酸化炭素排出量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	t-CO2	9,743	9,606	8,989	7,840	(向上)
評価	<p>(状況) 市管理施設の二酸化炭素排出量は8,989t-CO2で、前年度と比較すると617t-CO2減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると754t-CO2減少しているものの、目標値の達成は困難な状況です。</p> <p>(原因) 減少した主な要因は、電気事業者のCO2排出係数が低下したことによるものであり、市の事業活動におけるエネルギー使用量自体は増加しています。</p> <p>大規模でかつ開庁時間の長い市庁舎や市民交流センターの開館、現有施設の高効率化機器の導入などの省エネルギー化が進んでいないことなどが原因と考えられます。</p>						目標達成度
		■■■ (低)					

基本事項01 低炭素社会の推進

指標②	住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	件	1,247	1,563	1,693	1,700	(向上)
評価	<p>(状況) 住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数累計は1,693件で、総合計画基準値 (H28) と比較し446件増加しており、1年間での利用件数は130件となっています。</p> <p>(原因) 再生可能エネルギー利用に対する意識が浸透してきているとともに、太陽光発電設備の低廉化が図られ、システムの導入が進んできているためと思われます。</p>						目標達成度
		■■■ (高)					

基本事項02 水と大気環境の保全

指標①	水質のBOD基準値を上回った件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	件	0	0	1	0	(低下)
評価	<p>(状況) 水質測定を実施している13河川・23地点（6回/年）のうち、水質のBOD（生物化学的酸素要求量）平均での基準値を上回った地点が1か所（下の川）あったことから、成果としては低下となります。</p> <p>(原因) 測定時期の降水量が少なかったことなどの要因で水質基準値を上回ったことによるものでありますが、その他の測定箇所における河川の水質は年間を通じて安定しています。近年における下水道等の普及、事業所や住民意識の向上などにより、河川の水質が保たれているものと考えられます。</p>						目標達成度
		■■■ (低)					

基本事項02 水と大気環境の保全

指標②	大気の基準値を上回った日数（光化学オキシダント昼間の1時間値が0.06ppm以上）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	日	27	—	—	0	---
評価	<p>(状況) 大気の基準値を上回った日数は、令和3年2月以降に公表される予定の県大気汚染測定結果より取得するため、実績値は取得できませんでしたが、本市において、年々工場や自動車からの排ガス（窒素酸化物）抑制が図られているため、光化学スモッグ注意報が発令されることはなく、年平均での観測数値は低いものと考えられます。</p>						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	低炭素社会の推進
基本事項 02	水と大気環境保全
基本事項 03	放射線対策の推進
基本事項 04	生活衛生の向上
基本事項 05	3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

基本事項03 放射線対策の推進

指標①	搬出が完了した除去土壌等の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	%	3.4	24.0	50.6	100.0	(向上)
評価	(状況) 搬出が完了した除去土壌等の割合は50.6%で、前年度と比較すると26.6ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると47.2ポイント増加しました。国から示された搬出可能量に対して、順調に搬出しています。 (原因) 早期搬出について国に要望等を行ってきた結果、国からの予算配分額と搬出可能量が大幅に増加したことによるものです。						目標達成度
							(中)

基本事項04 生活衛生の向上

指標①	生活衛生敷地管理（雑草、害虫等）に関する苦情件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	件	40	23	40	32	(横ばい)
評価	(状況) 生活衛生敷地管理（雑草、害虫等）に関する苦情件数は40件で、前年度と比較すると17件増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と同数です。苦情内訳としては、「隣地の雑草等の繁茂」が33件、「ハチの巣駆除」が5件、「不法投棄」が2件となっています。 (原因) 天候条件が良く、雑草等の育ちが良かったことと、空地・空き家などが増加してきているためと思われます。						目標達成度
							(低)

基本事項05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標①	市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	g	821	863	886	743	(低下)
評価	(状況) 市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量は886gで、前年度と比較すると23g増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると65g増加しており、順調ではありません。 (原因) 家庭系可燃ごみは減少傾向にあるものの、景気動向等に左右される事業系可燃ごみが増加傾向にあることによるものです。						目標達成度
							(低)

基本事項05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標②	リサイクル率（再資源化率）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	%	16.2	17.2	15.2	17.0	(低下)
評価	(状況) リサイクル率（再資源化率）は15.2%で、前年度と比較して2.0ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.0ポイント減少しており、順調ではありません。 (原因) 家庭系ごみのリサイクル率は上昇してきているものの、景気動向等に左右される事業系ごみの排出量が増加傾向にあるため、リサイクル率が低下してきています。						目標達成度
							(低)